

## MC週間 日野第八小学校

詩を味わう→スタディノート活用

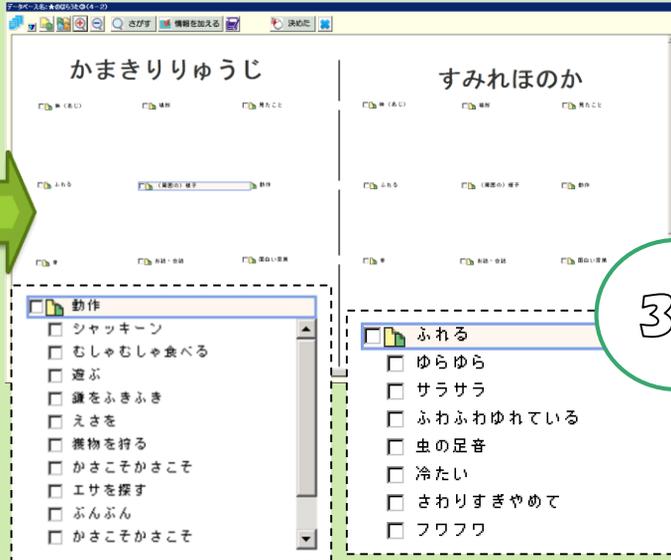
### ICT活用推進委員会研究授業 国語：のはらうた

実施報告

～詩を選び、その理由を考える～  
★教師が『のはらうた』から選んだ「20の詩」(親情報)から1～2つ詩を選び、選んだ理由を返信で書く(子情報)。気になったところ、気に入ったところを色づけし、その理由を書く。

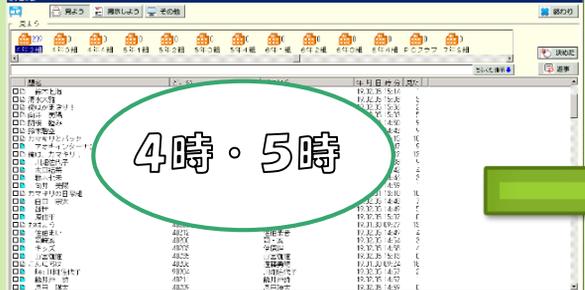
★1時で載せた子情報を2時には新しい白紙のデータベースに親情報として載せる。

～【観点マップ】を完成させる～  
★親情報を見あって、同じ理由の仲間が集まる(子どもは自分の親情報を動かせる) = グループ化  
★グループから「観点のキーワード」を引き出す



3時

～のはらうたの登場人物になりきって詩を書こう～  
 ★観点キーワードを参考に、のはらうたの登場人物になりきって、表現する言葉を考える。  
 ★集まった表現の言葉を参考に、詩を下書きする。



すみれほのかの日常

私は、カマキリ！

俺は、草の中に隠れて獲物を探す。獲物を見つけて、とびかかった。ザザツでも、いつも逃げられる。だから、エサが食べられない。しかし、いつも頑張っている。

俺は、カマキリ！

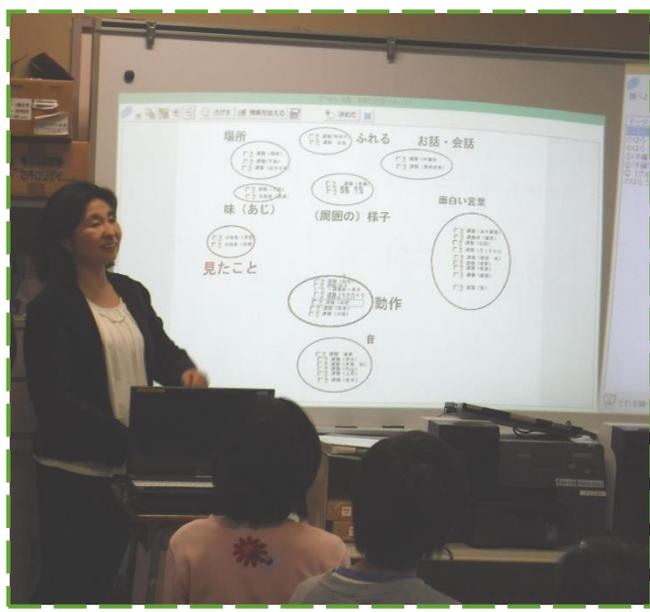
俺は植物、いつも風に、ふわふわゆられて、いつも美しいかわの、光を見ている。行けるのには、ああ、わたしが動けたら、いろんな場所に、ああ、世界ってなんて広いんだ

すみれほのかの日常

代表作品

～お互いの作品をみあって、よりよくしよう～  
 ☆自分の作品を清書し、電子掲示板に掲示する。作品をみあってコメントしアドバイスしあう。

## 川畑先生 「子どもたちから 引き出したい」



研修では何度か触れていたスタディノートですが、今回初めて授業で活用しました。敷居が高いように感じてなかなか活用に踏み出せなかったスタディノートでしたが、今回国語の「のはらうた」の学習で活用することに決めました。

最初学習計画を立てるときにはどの場面でのどのように活用したらよいか分からず、発表部分で活用することしかイメージできませんでしたが、自分がどのようなことを子ども達に考えさせたいのか、それを実現させるためにはスタディノートのどの機能を活用するとよいかが見えてくると段々と授業のイメージが固まってきました。「子ども達に考えさせたい」「一人一人の意見を大切にしたい」という思いから、全員が意見をノートに書きこみ、交流し、自分の作品を深めていく。そんな授業の組み立てにしました。

国語の授業を大切にするために、スタディノートの機能の活用や操作は最低限のものに絞り込みました。その結果、子ども達は国語という学習内容に集中しながらもスタディノートを活用したことで、クラスみんなの意見を自由に閲覧することができるようになり、自分の考えを深めていくことができました。

すべての機能を使いこなそうとするのではなく、自分のできるところから何か一つの機能でも活用していただくと、楽しみながら学習していけるのではないかと思います。まずはぜひ、一歩踏み出してみてください。

※1 のはらうたの詩：『のはらうたⅠ』『のはらうたⅡ』工藤直子：作 童話屋：出版 より  
 ※2 1時のデータベースの野原の絵：日野市内全小学校で導入している、市川ソフトが開発した「デージーピクチャーキッズ2」（ピクチャーキッズ）で作成しました